

事業シート（概要説明書）

事務事業名	青少年の国際交流事業	担当局・部名	こども青少年局企画部			
根拠法令	なし	担当課名	青少年事業企画担当			
事業開始年度	昭和57年度	作成責任者	平尾 暢章			
実施方法 (該当するものすべてにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
目的 (何のために)	実際に外国人の人たちとの意見交換や伝統芸能を紹介するなど、交流事業を通じて青少年が異文化理解を深め、国際性を身につけることで青少年の健全育成を図ることを目的とする。					
対象 (誰・何を対象に)	主に青少年 (平成20年度実績) 296名 環太平洋諸国訪問青少年少女使節団派遣事業(小学5年生から中学3年生 10名) ホームステイバンク事業登録数(年齢規定なし 120名) 各国青少年代表団受入事業(ベトナム中学生 22名、世界青年の船 概ね30歳以下 21名) 青少年国際交流セミナー事業参加者(年齢規定なし 123名)					
事業内容 (手段、手法など)	環太平洋諸国への少年少女の派遣、外国の青少年団体の受入、大阪に住む外国人の人との交流、絵画や書写などの作品交流等を実施し、本市青少年が外国人との交流を通して、国際的視野を身につけることを内容とした機会・体験事業を提供する。					
事業概要	実施済の外部委託の内容と実施主体	委託内容 【環太平洋諸国訪問青少年少女使節団派遣事業】(公募型企画コンペで決定) ・必要交通機関の確保及び現地施設等の調整・参加者の募集・参加者への事前研修、事後研修の実施・引率 【ホームステイバンク運営事業】(公募型企画コンペで決定) ・ホームステイ希望の海外青少年の紹介・受入団体とホームステイ家庭との連絡調整・研修会の実施 【各国青少年代表団受入事業】(公募型企画コンペで決定) ・表敬訪問の設定、歓迎会の開催、交流先の学校、宿泊先、ホームステイ家庭の確保及び連絡調整、市内施設見学などを含む全ての行程における随行 【青少年国際交流セミナー】(公募型企画コンペで決定) ・セミナー内容の企画、講師、場所の確保、参加者の募集、当日の実施運営				
	実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 外郭団体等 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 (NPOなど) <input type="checkbox"/> 市民活動団体 (地域住民組織など) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	直接実施している業務の内容	・事業の企画・立案、契約、予算・決算 ・本市の友好都市である上海市と絵画や書写などの児童作品交流を実施し、ホールなどで展示会を開催(展示会の開催は交互)。				
	事業の必要性	・国際化の一層の進展から、これからの青少年は、今まで以上に広い視野と国を越えた多様な人との交流が必要である。そのため、青少年に日本とは異なる社会で生活している外国青少年との相互交流を体験することにより、国際理解・協調の精神を育み国際社会に対応できる人材を育成するものである。				
コスト	平成21年度(予算)		人件費			
	事業費	4,023 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均人件費×従事職員数)	従事職員数
	人件費	6,441 千円		担当本務職員	6,441 千円	0.8 人
総計	10,464 千円	臨時職員他		千円	人	

事業シート（概要説明書）

<b>総事業費</b> (単位：千円)	年度	総額	実施方法が外部委託の場合、委託料等を内数で記入		
	H19(決算)	8,912 千円	委託料 3,153千円		
	H20(予算)	8,901 千円	委託料 3,080千円		
	H21(予算)	10,464 千円	委託料 3,780千円		
<b>21年度総事業費内訳</b> (委託料等を明記)	平成21年度歳出内訳 【人件費】 6,441千円 【物件費】 4,023千円 (委託料) ・環太平洋諸国訪問少年少女使節団派遣事業(2,570千円)、大阪市ホームステイバンク運営(425千円)、各国青少年代表団受入事業(400千円)、青少年国際交流セミナー(385千円)(印刷製本費他) 大阪市・上海市児童文化交流(200千円) (普通旅費) 各国青少年代表団受入事業(43千円)				
<b>事業実績</b>	項目	単位	H19年度(実績)	H20年度(実績)	H21年度(予定)
	環太平洋諸国訪問少年少女使節団派遣者数	人	12人	10人	14人
	大阪市ホームステイバンク登録者数	人	123人	120人	72人
	ホームステイ受入者数	人	46人	26人	40人
<b>単位当たりコスト</b> (総事業費/事業実績)	環太平洋諸国訪問少年少女使節団派遣事業(派遣一人あたりのコスト)	千円/人	258	309	241
	大阪市ホームステイバンク事業(登録者一人あたりのコスト)	千円/人	10	10	17
	大阪市ホームステイバンク事業(受入一人あたりのコスト)	千円/人	26	46	31
<b>目指す成果</b> (今後どのような状態にしたいか、なるべく定量的に記入)	・交流事業を通じた諸外国の青少年との交流により、相互の理解と友好を促進するとともに、青少年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成すること ・青少年が様々な分野で国際交流・協力活動に積極的に参加できるようになること ・さらに国際交流事業に参加したいと考える者の割合 7割				
<b>達成状況</b> (目指す成果に対して、実施・達成した状況を記入)	・環太平洋諸国少年少女使節団派遣事業では、大阪の子ども達と派遣先の国の子ども達が交流し、言葉や文化の違いに対する理解を深め、また、宿泊には必ずホームステイを組み込むことにより、家庭・地域を含めた友好交流をすることができている。 ・各国受入事業やホームステイバンク事業では海外から来日する青少年と大阪の子ども達が交流、また、ホームステイを通じてより深く、日本、そして大阪のよさを実感してもらうなど、本事業を実施することにより、青少年の国際社会への理解を深め豊かな国際性を醸成することができている。				
<b>事業の自己評価</b> (今後の事業の方向性、課題等)	・市民生活や経済活動のあらゆる面で「国際化」が進展しており、国際感覚を養うことは、今後ますます重要となるため、本市施策として充実させていく ・色々な国際交流事業を実施しているが、認知度が低い。多くの市民に国際交流事業に参加してもらうため広報活動の充実が課題				
<b>さらなる民間活用・市民協働推進の予定</b>	<input type="checkbox"/> 有 (予定する業務と、想定しうる実施主体を下欄に記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 無		
	業務内容				
	実施主体	<input type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 外郭団体等	<input type="checkbox"/> 市民活動団体(NPOなど)	<input type="checkbox"/> 市民活動団体(地域住民組織など)	<input type="checkbox"/> その他( )
<b>比較参考値</b> (他自治体での類似事業の例など)	別紙参照				
<b>特記事項</b> (事業の沿革等)	特になし				

## 青少年の国際交流事業

### ○ 環太平洋諸国訪問少年少女使節団派遣事業(平成4年～)

21世紀を担う子どもたちを特に大阪と絆の深い環太平洋諸国に派遣し、現地での交流やホームステイなどの生活体験を通じて友好親善を図るとともに、異文化社会に対する理解を深め、国際性豊かな青少年を育成する。

#### 【実績】

これまで、9カ国(シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、ブルネイ、アメリカ合衆国、オーストラリア、中国)、延べ 292 名の子ども達を派遣。

#### 【実施概要】(平成20年度)

- ・事前研修 6月22日、7月26日～27日(宿泊研修)、8月10日  
派遣に向けての勉強(あいさつ程度の語学、派遣国の文化、習慣等)、学校交流プログラムの準備など  
※学校交流プログラムでは、お互いが歌や寸劇、クイズなどを出しあって交流
- ・派遣(8月20日～25日の5泊6日) 大阪市上海事務所訪問、上海市庁舎表敬訪問、中国茶道体験、上海雑技学校、上海市甘泉外国語中学との交流、中国切り絵体験、市内見学、ホームステイ(2泊)など
- ・事後研修 9月7日、11月16日 研修を含む本事業の総括として、参加した子ども達で報告書を作成
- ・個人負担額 108,000円

#### 【大阪市における派遣事業(教育委員会)】

※ 単位:千円

事業名	派遣先	派遣人数	派遣日数	個人負担額
大阪市高等学校生徒海外派遣事業	オーストラリア	12人	12日間	120
大阪市中学生国際交流事業	オーストラリア	20人	13日間	150

#### 【他都市比較】

※ 単位:千円

	事業名	派遣先	派遣人数	派遣日数	個人負担額
札幌市	シンガポール少年少女交流事業	シンガポール	4人	15日間	88(予定)
横浜市	サンディエゴ青少年・指導者交流派遣事業	サンディエゴ	4人	5日間	50
堺市	堺ウェリントン青少年交流事業	ウェリントン	25人	15日間	270(程度)
神戸市	学校国際交流支援事業	シアトル	10人	14日間	20
福岡市	福岡市少年の翼交流事業	釜山	35人	4日間	35～40

### ○ 青少年国際交流セミナー事業(平成10年～)

青少年の国際交流を一層発展させるために、その現状と今後のあり方について特に大阪に住む外国人と共に考え、理解を深める。

#### 【実績】

これまで、11回、述べ約900名が参加

#### 【実施概要】(平成20年度)

11月24日(日) 午後2時から3時30分 主に青少年を対象としたセミナー(参加者123名)。

1部 講演会「大阪大好き!ダイアンから見た日本」 講師:ダイアン吉日

2部 フリートークによる交流

### ○ 大阪市・上海市児童文化交流事業(昭和57年～)

友好都市・上海市と児童作品の交流を行い、友好親善を図る。

#### 【実績】

これまで、27年にわたり、両市において交互に作品展を開催

#### 【実施概要】

毎年、100点程度の絵画、書写の作品を相互交流。今年は7月17日から8月6日まで約3週間展示

### ○ 各国青少年代表団受入事業(平成4年～)

内閣府主催の「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業や外務省主催の海外青少年招聘事業等により来日する外国の青年代表団が、日本国内研修の地方プログラムの一環として、本市を含む担当各県市をグループに分かれて訪問するものである。

本市の青少年との交流やホームステイなどを通じて本市青年に対する国際交流活動の場の提供と次代を担う本市青年の国際感覚の涵養を目的とする。また、文化を相互に学びあい、本市青年と相互理解を深め、友好親善を図る。

【実績】

毎年、内閣府、外務省等が主催する海外青少年受入事業における地方プログラムを実施

【実施概要】

- ・ 歓迎会の開催
- ・ ホームステイバンク登録者と連絡調整、ホームステイ家庭の確保
- ・ 市内施設見学・学校交流プログラムの実施

【本市受入事業(平成 20 年度実績)】

事業名	受入人数	受入日数
21 世紀東アジア青少年大交流(ベトナム中学生)	22 人	5日間
世界青年の船	21 人	3日間

【他都市比較 受入・招へい事業】

	事業名	受入人数	受入日数
札幌市	ノボシビルスク少年交流事業	10 人	6日間
仙台市	ダラス市高校生受入れ	10 人	7日間
静岡市	全国少年少女草サッカー大会	40 人	5日間
〃	杭州長征中学受け入れ	28 人	3日間
名古屋市	南京市ジュニアスポーツ交流事業	12 人	6日間
京都市	日米青少年野球交流プログラム	12 人	7日間
堺市	民間大使受入事業	15 人	10 日間
神戸市	学校国際交流支援事業	8 人	2週間
岡山市	国際サマーホームステイ in OKAYAMA 2009	35 人	8日間
広島市	広島市・大邱広域市青少年交流事業	20 人	5日間
〃	青少年国際平和未来会議	39 人	15 日間
〃	高校生の国内・国外留学推進事業	5 人	10ヶ月
北九州市	日・韓青少年交流事業(仮称)	13 人	4日間
福岡市	第 20 回アジア太平洋こども会議・イン福岡	331 人	15 日間
〃	福岡市少年の翼交流事業	35 人	4日間
〃	福岡・アトランタ青少年訪問団	7 人	10ヶ月
〃	福岡・US オークランド青少年交流	8 人	12 日間
〃	福岡・イポー青少年交流	8 人	10 日間

○ 大阪市ホームステイバンク事業(昭和 58 年～)

内閣府や外務省等が実施する、海外青少年受入事業で大阪市を訪問する海外青少年団体の受入プログラムにおいて、直接的に日本人々と触れ合うことのできるホームステイを希望するケースに対し、ホームステイバンクの組織運営を通じ、受入家庭の確保に努め、登録家庭の継続的な資質向上を図ることで、大阪市を訪問する海外青少年団体のホームステイを円滑に進め、国際交流の一層の促進を図る。

【実績】

平成 21 年度登録家庭 72 家庭

毎年、約 50 家庭が海外青少年のホームステイを実施。

【実施概要】

- ・ 青少年団体等のホームステイの依頼により、ホームステイ希望家庭の募集を実施
- ・ ホームステイバンク登録家庭への研修
- ・ 受入団体とホームステイ家庭との連絡調整